

寄附講義「会社研究」 第7回目（第8回）

令和2年7月1日 13時10分

講師 株式会社 大分放送

代表取締役社長 永田悠三郎氏

テーマ 1回の人生、楽しく生きなきゃ損じゃない

今回も、経済学部棟からのオンライン講義でした。

永田社長はテレビ営業局長や常務取締役を経て、平成26年から現職を勤められています。ご自分の半生を振り返りながら、仕事に向かう姿勢や心がけについて学生に語り掛けました。

まずは東京での学生生活から。露天商でタコを売るアルバイトで、責任を持ってノルマを達成するために、自分で工夫して客を掴む方法を生み出し、売り上げを伸ばしていたそうです。その経験がその後大分放送で活躍する営業の原点になりました。

大分放送に入社した初めの5年間で、地べたを這う自分流の営業スタイルを作り上げました。次に東京に転勤して大手広告代理店からまた新しいスタイルを学び、大分放送の仕事に取り入れていきました。

その後、営業とは異質の制作部門へ。一から学びながら自分なりのアイデアで作品作りに挑戦する喜びを知りました。



(就職しての心がけ)

入社して最初の配属先では周りの人を誰も知らない、仕事の内容もわからないのは当然のこと。まず仕事の基本的なことをしっかり覚えること。わからないことは上司に教えてもらう。しかしイエスマンになってはいけない。

仕事は自分のため、家族のためだと考える。それが結果として会社のためになる。うまくいかないことがあっても、自分のためだと思えば立ち直ることができる。

(困難への対処)

昇進が遅れたり、仕事に失敗したりしても、焦らず腐らなず妬まず受け止める。一生懸命仕事に邁進していれば、見ている人は必ずいる。一喜一憂しないこと。人事はしょせんヒトゴト。

(Q&A)

オンライン質疑の時間では、学生から次のような質問が出され、池辺社長が丁寧に回答されました。

- ・TV離れが進む放送局の対応は？
- ・実績を残す人とそうでない人の違いは？
- ・情報を取捨選択する基準は？

これまでとは一味違った内容の講義で学生をひきつけました。ありがとうございました。